



## ボッシュの売上高と利益が著しく増加 成功を記録した 2017 年

2018 年 1 月 30 日  
PI 9992 RB Ka/KB

- ▶ 売上高は約 780 億ユーロ(約 9.9 兆円\*)に増加
- ▶ 営業利益は 53 億ユーロ(約 6,700 億円\*)
- ▶ モビリティソリューションズ事業セクターの成長率が自動車生産の伸びを上回る
- ▶ インダストリー4.0 の新部門を設立、従業員は 500 名
- ▶ スマート農業、スマートシティ向けに数多くのソリューションを提供
- ▶ ボッシュ CEO のデナー:「私たちはネットワーク化の可能性に早くから着目してきました。これまでの努力が今、事業上の成功として実を結びつつあります」

シュトゥットガルト/ルートヴィヒスブルク(ドイツ) – 2017 年にボッシュの売上高は 6.7% の力強い成長を達成しました。暫定決算報告によると、グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュは昨年、780 億ユーロ(約 9.9 兆円\*)の売上高を記録しました。為替調整後の前年比伸び率は 8.3% です。為替変動のマイナスの影響で、売上高は 12 億ユーロほど押し下げられました。「私たちは予想以上の成長に加えて、収益の改善を実現できました。2017 年の売上高は過去最高水準に達しました」。ボッシュ取締役会会長のフォルクマル・デナーは、ドイツのルートヴィヒスブルクで開いた暫定決算報告発表の記者会見でこのように述べました。ボッシュの持つ技術革新力と、ネットワーク化に的を絞った戦略の奏効により、ボッシュは成長軌道を歩み続けています。「私たちはネットワーク化の可能性に早くから着目してきました。これまでの努力が今、成果として実を結びつつあるのです」(デナー)。2017 年の支払金利前税引前営業利益(EBIT)は約 53 億ユーロ(約 6,700 億円\*)に増加、売上高利益率(EBIT)は 6.8% でした。ボッシュの CFO で、取締役会副会長を兼務するシュテファン・アーセンケルシュバウマーは、「ボッシュが IoT(モノのインターネット化)テクノロジーとモビリティソリューション分野でリーディングサプライヤーとなる努力に取り組むことができるのも、コア事業の成功による資金的な余裕があるからです」と強調しました。そして迎えた新年、工場、ビル、市街地などモビリティ以外の新たなエリアでネットワーク化を展開する数多くの機会が訪れるとボッシュは期待しています。取締役会長のデナーはまた、デジタル革命の時代に備えて企業文化の転換を図ることの重要性を指摘しました。

## インダストリー4.0 担当部門を新たに設立

デナーは、ポッシュではネットワーク化とデジタル化が社内業務に定着し日常化しています、と前置きしたうえで、「変革を通じて私たちは、エクセレンスが単なる概念でなく、地に足の着いた実践であることを、技術とビジネスの両面で証明していきます」と語りました。ポッシュはコネクテッドインダストリー、あるいはインダストリー4.0 が売上げ増加につながる大きな可能性を秘めていると見ています。新しい事業部門である「ポッシュ コネクテッド インダストリー」が、この1月に従業員 500 人体制でスタートしました。ポッシュはこの部門にインダストリー4.0 分野の活動と専門能力、とりわけソフトウェアとサービス関係の活動を集約します。さらに、インダストリー4.0 の実装に関する専門知識を活かして、サードパーティを対象にしたコンサルティングサービスも展開します。今後 2020 年までに、私たちはインダストリー4.0 関連で 10 億ユーロを超える売上高を達成したいと考えています。マッププロバイダーの [HERE](#) への出資を通じて、ポッシュはインダストリー4.0 ドメインのプロジェクト開拓に向けて、新たなカギを入手しました。

## 根本的な課題にネットワーク化で取り組む

デナーは IoT を機能させるうえでのネットワーク化の重要性を強調して次のように述べています。「現在の環境は、差し迫った問題を解決する革新的なソリューションを見つけ出さないかぎり、数十億人以上の生命を支えることはできません」。ポッシュは現在、人口増加、都市化の進行、大気汚染、気候変動などの基本的課題に対処する目的で 170 件ほどの IoT プロジェクトに取り組んでいます。「人々の生活の質の向上に向けて、現実世界をつなぐために私たちは IoT を活用します」(デナー)。たとえば 2017 年にポッシュは、スマート農法、あるいはネットワーク化された農業向けの新しいソリューションを導入しました。2025 年に 80 億人に達すると予想される地球の全人口に十分な食糧を確保するのが狙いです。スマート農法では、アスパラガスやイチゴ、トマトなどの栽培に、センサーベースの [ソリューション](#) と [人工知能\(AI\)](#) を活用します。[カキ養殖](#) や家畜の飼養でも、ポッシュのテクノロジーが効率と持続可能性の向上に寄与しています。デジタル農業技術市場は 2020 年までに 70% 以上成長すると予想されています。

## スマートホームとスマートシティ: 数十億の人々が暮らす空間

モビリティと IoT アプリケーションの増加に支えられて半導体需要が伸びる中、ポッシュはドレスデンに [ウエハ製造工場](#) を建設中で、2021 年までに 10 億ユーロを超える投資を予定しています。新工場で製造されるチップの用途のひとつが、スマートホームです。スマートなキッチンの実現に向けてポッシュはネットワーク化された家電製品を提供するほか、デジタルサービスの充実にも力を注ぎます。

その一つ、[ホームコネクテッドエコシステム](#) は、スタートアップ企業の [Kitchen Stories](#) が提供する、12 の言語に対応したアプリをベースとするものです。すでに通算 1,500 万回以上ダウンロードされたこのアプリは、1,000 種類を超える料理のレシピを含み、動画と静止画写真によって調理方法を紹介します。ポッシュはまた、2018 年 1 月に米国のラスベガスで開かれた CES 国際家電ショーで街全体をネットワーク化するための総合的製品ポートフォリオを紹介しました。そのひとつは、市街地の大気環境をリアルタイ

ムでチェックし、データを送り出す携帯式大気分析ラボの「[Climo\(クライモ\)](#)」です。2025年までに世界の80の大都市がスマートシティに変身する見通しです。現時点でポッシュは、そのためのビーコンプロジェクト14件を手がけています。スマートシティ市場は2020年までに7,000億ユーロに成長する見込みです。

### 都市交通: 排出ガス、ストレス、そして事故のない交通を目指す

都市化の進行は、さまざまな問題を併発しています。2050年までに、都市の交通量は30%増加する見通しです。「私たちは都市交通において、Emission-free(排出ガスのない)、Stress-free(ストレスのない)、Accident-free(交通事故のない)な交通の実現を目指しています。そのために、道路交通の自動化、電動化、そしてネットワーク化を推進します」(デナー)。今夏からスペインのマドリッドで、バイクシェアプラットフォームの[COUP](#)がeスクーターのシェアリングを開始します。自動運転も、都市交通の負担緩和を担います。ポッシュは[ダイムラー](#)と提携して、2020年代のはじめには、市街地の道路で完全自動、ドライバーレスの自動車を走らせる計画です。その最初の試作車両が、2018年中にも公道でテスト走行を開始します。ポッシュとダイムラーはまた2017年に、自動運転に一步近づく技術開発を成し遂げました。シュトゥットガルトにあるメルセデス・ベンツミュージアムに導入された、完全な[自動バレットパーキング](#) サービスを実現する世界初のソリューションです。

### 未来のパワートレイン: パートナーと提携して燃料電池開発を促進

電動化の面でポッシュは2017年にいくつか重要な前進を達成しました。ひとつは、ハイブリッド車向けに開発した[48Vバッテリー](#)の量産開始です。このバッテリーは新しい車両に容易に組み込むことができます。既存の自動車メーカーにしても、後発のスタートアップにしても、このバッテリーを使用することで、コストと時間のかかる開発プロセスをスキップできます。さらに2019年には、電気自動車の航続距離延長に寄与する新しい[電動アクスルドライブ](#)「eAxle」の導入が控えています。「ポッシュの技術がeモビリティの実現を速めます。2017年に私たちは何件もの量産プロジェクトを受注しました。中には総額が数十億ユーロに達するものもあります」(デナー)。ポッシュはまた[大型トラック向け](#)に、米国のスタートアップ企業、Nikola Motor Co.と提携して、水素燃料駆動のeAxleを開発中です。「遅くとも2030年には燃料電池がパワートレインミックスの中で重要な地位を占めるようになる」と予想されます。私たちは開発活動を強化し、製品ラインナップを徐々に拡充していきます」とデナーは述べています。世界最大のeモビリティ市場である中国で、ポッシュはトラックエンジンメーカーのWeichaiと組んでトラック用燃料電池開発のためのパイロットプロジェクトを実施しています。デナーが言うように、「自転車からトラックまで、eモビリティ分野でポッシュほど多様な事業を展開する自動車機器サプライヤーは他に存在しません」

### 技術的に実現可能な夢: 内燃機関のカーボンニュートラル化を目指す

デナーは内燃機関が秘める重要性を強調して次のように述べています。「欧州が計画するCO<sub>2</sub>排出削減目標をディーゼル抜きで達成するのは不可能としか考えられません」。ディーゼル車の禁止をめぐる議論に関連してデナーは、ディーゼル技術は現に存在し、エネルギー効率の向上と資源の節約に寄与している事実を指摘しました。それ

だけではありません。「ポッシュのテスト車両は 2020 年に導入予定の排ガス基準を今すでにクリアできているのです。それに加えて 2020 年基準よりももっと厳しい、次の規制を満たし得るシステムの開発とテストがすでに始まっています」。こう語るデナーは、ポッシュ取締役会にあって研究開発・先端エンジニアリングも担当しています。ポッシュのエンジニアの目標は意欲的です。「吸入したもの以外排出しない」内燃機関を開発しようというのです。CO<sub>2</sub> の発生は避けられないところですが、それを別にすれば、周囲の大気と違いのないところまで、エミッションを徹底的に浄化しようというのです。[合成燃料](#)と組み合わせれば、このようなエンジンをカーボンニュートラル化することも不可能ではありません。

### 革新力文化: ネットワーク化を推進

「企業文化の変化なくしてデジタル革命はあり得ない」とデナーは言います。「私たちはリーダーシップと協働のあり方を見直しているところです。それをステップに、私たちのイノベーションを生み出す文化を強化するのが狙いです」。多くの分野でポッシュは組織の非階層化と、部門ないし職能間の壁の廃止に取り組んでいます。既に、大企業にありがちな官僚的手順の 3 分の 2 以上をなくし、個別賞与を廃止しました。ポッシュの[イノベーション文化](#)は明確な競争優位をもたらすと、デナーは確信しています。「私たちは、日々継続的改善に取り組む従業員に恵まれています」

### 事業セクター別 2017 年度事業報告

2017 年の業績改善にすべての事業セクターが貢献しました。暫定数字によれば、**モビリティソリューションズ**事業セクターは前年比 7.8%の成長を記録しましたが、これは世界の自動車生産の伸びの 3 倍に当たります。売上高は 474 億ユーロで、為替調整後の売上高は 9.2%の増加となりました。成長を支えた主な要因は、旺盛な需要が続いたディーゼル燃料噴射システム、特に商用車向けと、ガソリン燃料噴射システム、そしてドライバーアシスタンスおよびインフォテインメントシステムです。**消費財**事業セクターの売上高は、BSH Hausgeräte と電動工具合わせて前年比 4.5%増の 185 億ユーロでした。為替調整後の売上高は 6.7%増加しました。特に、2017 年に創業 50 周年を迎えた BSH Hausgeräte が好調でした。**産業機器テクノロジー**事業セクターは 7.7%の力強い成長を見せ、売上高は 67 億ユーロに増加しました。為替調整後の伸びは 8.5%です。成長を中心的に支えたのはドライブ & コントロール テクノロジー事業部です。**エネルギー・建築関連テクノロジー**事業セクターの売上高は 54 億ユーロで、名目成長率は 3.1%、為替調整後で 4.8%でした。サーモテクノロジー関係では暖房と空調用のネットワーク化ソリューション、セキュリティシステム事業部ではビルディングオートメーションとセキュリティ用のスマートテクノロジーが好調でした。

### 地域別 2017 年度事業報告

欧州では、ポッシュの業績は非常に好調で、売上高は前年比 5.5%増(為替調整後では 6.3%増)の 407 億ユーロにのびました。好調の原因として、西欧と中欧で経済成長が続いたことが挙げられます。北米の売上高は 121 億ユーロで、為替調整前で前年比横ばい、名目では 2.3%の減収となりました。南米は回復基調が続き、売上高は 16 億ユーロと、前年比伸び率は名目で 15%、為替調整後で 12%に達しました。**アジア**

ア太平洋地域とアフリカは、力強い成長を示し、売上高は 236 億ユーロでした。前年比 14%、為替調整後で 17%の伸びに当たります。

#### 従業員数は増加:40 万人台乗せ

2017 年にボッシュ グループの従業員数は 1 万 1,200 人ほど増加しました。2017 年 12 月 31 日時点での従業員数は世界全体で 40 万 500 人を数えます。2017 年にボッシュはソフトウェアと IT のスペシャリストを世界合わせて数千人採用しました。地域別では従業員が増えたのは主にアジア太平洋地域と中欧および東欧です。ドイツ国内の従業員数は 3,800 人増加しました。

#### 2018 年の展望:経済環境に力強さは欠けるものの、売上高/利益は改善する見込み

2018 年の世界経済について、ボッシュでは 2.5%前後の穏やかな成長に留まると見えています。英国の EU 離脱交渉、予測困難な米国の外交政策、北朝鮮をめぐる緊張など、地政学的要因に由来するリスクが経済成長の足かせになるというのがグローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュの総合的な判断です。さらに、特に中国で、景気のスローダウンが見込まれます。困難な環境が予想される中、ボッシュは 2018 年には売上高と利益をさらに拡大し、業務の改革を進めて IoT 技術とモビリティソリューション分野で業界の第一人者としての地位を目指します。

主要業績データはこちらでご覧いただけます。

報道用画像: #533508, #988670, #1056404, #1136650, #1137957, #1142782, #1147917, #1152429, #1163826, #1243990, #1289553, #1289918, #1313857

インフォチャート: #1320141, #1320142, #1320143, #1320144, #1320145, #1320146

#### 報道関係対応窓口

René Ziegler 電話: +49 711 811-7639

Nicole Neuer 電話: +49 711 811-11390

Sven Kahn 電話: +49 711 811-6415

#### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017 年の従業員数は約 40 万 500 人(2017 年 12 月 31 日現在)、暫定決算報告での売上高は 780 億ユーロ(約 9.9 兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノ



ロジックを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 450 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 6 万 2,500 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ (1861～1942 年) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 92% は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業者であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

\*2017 年の為替平均レート: 1 ユーロ=126.71118 円

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)